

令和 7 年度 第 8 回理事会議案書

第 1 号議案

令和 8 年度事業に係る各学校への周知・募集の件

報告事項

職務執行状況報告

令和 8 年 3 月 4 日(火)

書面決議

公益財団法人明日佳

第1号議案 令和8年度事業に係る各学校への周知・募集の件

このことにつきまして、北海道特別支援学校に対して、次の3事業に係る周知及び募集を図りますので、ご審議頂きたくお願い申し上げます。

1 各学校長等宛の送付鑑文書

令和8年3月〇〇日

北海道特別支援学校長
副校長 各位
教頭

公益財団法人明日佳
理事長 小野寺 眞 悟

令和8年度「公益財団法人明日佳」各事業について
標記の件につきまして、令和8年度、当法人は道内特別支援学校のスポーツ振興のため、次の3事業を実施いたします。
つきましては、事業ごとに申し込み期限内にご対応ください。

記

- 事業1 スポーツ用品の寄贈
- 事業2 2026第10回小野寺眞悟杯 北海道特別支援学校フットサル大会の開催
- 事業3 パラスポーツに係る実践研究校の指定

以上

連絡先

公益財団法人明日佳
事務局長 鈴木 重 男
携帯電話 090-7519-9503
Email suzukishigeo2265@outlook.jp

事業 1 スポーツ活動に係る用具の寄贈

1 主旨

フットサル活動の支援に重点を置いたスポーツ用品の寄贈とする。

2 寄贈するスポーツ用品

(1) 下記のAセット、またはBセットのスポーツ用品、いずれか1セットを寄贈する。

(2) Aセット

メーカー	商品		数量	単価(税込)	金額(税込)
モルテン	フットサルボール4号球	F9Y2521WR	3	3,520	10,560
	送料		1	1,620	1,620
合計					12,180



WR



WG

※1

赤色 (WR) か青色 (WG) を選択する。

※2

WRの在庫がない場合はWGとなる。

(3) Bセット

メーカー	商品		数量	単価(税込)	金額(税込)
モルテン	ゲームベスト SET	GS0113	1	13,376	13,376
	送料		1	1,100	1,100
合計					14,476



KL



KO



KG

※1

若草色 (KL)、橙色 (KO)、緑色 (KG) の3色から1色を選択する。

※2

希望の色がない場合は在庫のある色となる。

3 申し込み

(1) 別紙申し込み用紙に必要事項、選択肢を記載し、当財団事務局まで申し込むこと。

(送信先は、申し込み用紙に記載してあります)

(2) 申し込みはメール及びFAXで申し込むこと。

(3) 締め切りは、令和8年4月24日(金)までとする(必着)。

事業 1 スポーツ活動に係る用具の寄贈 申込書

申 込 書

Fax 011-887-6562

本校は、次のスポーツ用具の寄贈を希望します。

令和8年 月 日

学校名						
校長名						
事務長名						
担当者(職・氏名)						
希望品する用品	いずれか1つを選択(セット/色) ○印を記入					
	セット	WR	WG	KL	KO	KG
	Aセット			/	/	/
	Bセット	/	/			

【備考】

- 1 申し込み〆切日 令和8年4月24日(金) 必着
- 2 申込方法
 - ①本申込書に必要事項を記載し、メールにて下記まで送信してください。
 - ②記載した本申込書を印刷し、Faxでも送信してください。
 - ※上記①②とも手書きではなく、ワードにて記入をお願いします。
 - ※寄贈の決定についてはメールにてお知らせいたします。
- 3 申込書送付先
 - 公益財団法人明日佳
 - 事務局長 鈴木重男
 - 携帯電話 090-7519-9503
 - Email suzukishigeo2265@outlook.jp
 - Fax 011-887-6562

事業2 2026第10回小野寺眞悟杯 北海道特別支援学校フットサル大会

概要

2026 令和 8 年度第 10 回大会は、北翔大学浅井記念体育館で開催します。

この大会は、第 5 回全国特別支援学校フットサル大会北海道地区大会も兼ねており、現在、韓国からの参加打診もあることから、カテゴリーⅡ参加の日本側の最高成績校を姫路市において開催される第 5 回全国特別支援学校フットサル大会に北海道地区大会代表として推薦します。

各校の積極的な参加を期待しています。

参加希望校は、「開催要項」並びに「旅費、宿泊等にかかる支援規定」を熟読の上、期日までに申込書を提出してください。

宿泊は、札幌市内を予定しています。詳細は後日お知らせします。

昨年度の第 9 回大会については、下記ホームページの第 9 回大会記念誌を閲覧してください。

アドレス <https://onoderashingo-zaidan.or.jp/>

記

1 参加に当たって

- (1) 開催要項をよくご理解の上、参加をお願いします。
- (2) 旅費その他については、「旅費、宿泊等にかかる支援規定」に則って支援いたします。内容をよく検討の上、旅費等を申請してください。

2 申し込み

- (1) 申込書に必要事項を記入の上、令和 8 年 5 月 25 日（月）までにお申し込みください。
- (2) 申込書は、手書きではなく、添付した様式（申込書No.1 はワード、申込書No.2 はエクセル）に記入してください。PDF 化は、避け、必ず指定のワードかエクセルで作成願います。
（氏名の誤字等を避けるため）
- (3) 申込書は下記により法人事務局まで送信してください。
 - ①申込書No.1 メールにて下記まで送信してください。
また、同時に、申込書No.1 を印刷し、F a xでも送信してください。
 - ②申込書No.2 必ず指定パスワードにて保存し、下記までメールにて送信してください。
パスワードは申込書No.2 に記載してあります。

3 個人情報等の取り扱いについて

- (1) 氏名の取り扱い
 - ①事情がある場合、大会パンフレット等に掲載する生徒氏名は匿名にします。
 - ②申込書No.2 の該当欄をチェックしてください。
- (2) 写真等の取り扱い
 - ①公益財団法人明日佳で作成する記念誌、ホームページ等については、事情がある場合、掲載の仕方について配慮します。申込書No.2 の該当欄をチェックしてください。
また、記念時の編集段階で原稿をメール送信しますので、原稿を点検し、校長の了解を得てください。
 - ②試合当日は、配慮する生徒と申込書No.2 の背番号は必ず一致させてください。
 - ③会場で一般の方が撮る写真を管理することはできません。必要な場合は、各校の責任のもとで撮影者をお願いしてください。

申込書送付先	公益財団法人明日佳 事務局長 鈴木重男 携帯電話 090-7519-9503 Email suzukishigeo2265@outlook.jp Fax 011-887-6562
--------	---

開催要項

- | | | |
|----|------|---|
| 1 | 目的 | 本大会は、特別支援学校生徒がフットサルを通して、日々、鍛錬してきた成果を踏まえ、自校生徒間のチームワークを深めるとともに、他国・他校生徒に対しては敬意の念を持ってプレーし、もって社会性を養い、就労への意欲を高めて、インクルーシブ社会の実現に向けた当事者としての成長に寄与することを目的とする。 |
| 2 | 会場 | 北翔大学浅井記念体育館 |
| 3 | 日時 | 2026（令和8）年7月25日（土） 9:00 ～ 16:00 |
| 4 | 主催 | 公益財団法人明日佳 |
| 5 | 共催 | 公益財団法人日本ライオンズ |
| 6 | 後援 | スポーツ庁 全国特別支援学校長会 北海道教育委員会 江別市 江別市教育委員会 |
| 7 | 主管 | 札幌北の杜ライオンズクラブ エスポラーダ北海道 |
| 8 | 協力 | 医療法人明日佳 社会福祉法人明日佳 社会福祉法人長沼陽風会
北海道特別支援学校長会 公益財団法人北海道サッカー協会 |
| 9 | 大会日程 | (1) 開会式 9:00 ～
(2) 予選リーグ・決勝トーナメント 9:40 ～
(3) 表彰・閉会式 15:40 ～（全日程終了予定 16:00） |
| 10 | 備考 | (1) 中学部・高等部併置校は、カテゴリーⅠに出場する。
(2) 「釧路鶴野支援学校」「中標津支援学校」「高等聾学校」並びに「高等養護学校」「高等支援学校」は、カテゴリーⅡに出場するものとする。
(3) カテゴリーⅠ は、生徒8名、引率者3名、計11名で編成する。
カテゴリーⅡ は、生徒8名、引率者2名、計10名で編成する。
(4) 競技規則は、(公財)日本サッカー協会のフットサル競技規則に準ずる。ただし、参加学校の特性及び生徒の障がいの特性等に応じて、各ゲーム内において各参加校の共通理解の下、適切に運用する。例えば、聴覚に障害のある生徒が出場する場合は、審判は手旗を使用する。
(5) 参加校は、自校生徒及び相手校生徒等への努力・敬意・勝者への称賛等を大事にする心を持つよう、各種の指導場面での留意に努めること。
(6) 参加校は、本大会を共催する公益財団法人日本ライオンズの大会の基本コンセプトを遵守すること。
(7) 上記主旨により、大会開会式、表彰式、閉会式は全校が参加するものとする。
(8) 本大会は、監督・コーチの立位及び座位でのベンチでの生徒への指示(選手交代時を除く)の一切を禁止するので、各校は日々の練習もそのような生徒の主体的行動を促す指導に努めること。
(9) 参加に際しての留意事項
①参加校は、旅行及びスポーツ傷害保険等に参加すること（日本スポーツ振興センター災害共済給付制度に参加している場合は可とする）。
②参加校は、チーム構成員の各種疾病に係る健康チェックを各校で実施すること。
(10) 旅費、宿泊費等について
①旅費、宿泊費（前泊、後泊）、その他必要な経費については、別紙「旅費、宿泊等にかかる支援規定」により公益財団法人明日佳が負担する。 |

『自立とRESPECT』 公益財団法人日本ライオンズの大会基本コンセプト

○ 自立への願い

公益財団法人日本ライオンズは、特別支援学校の多くの生徒が、卒業後、実社会に出て就労することを踏まえて、生徒が自ら判断し、自立的行動が可能になるように、生徒の主体的判断を尊重する大会を目指しています。

このため本大会は、通常のフットサル競技会では許されている監督・コーチのベンチでの指示・命令を禁止しています。監督・コーチは、選手交代時以外はベンチに座り、状況を見守り、生徒の自立的行動を正確に把握して、穏やかな態度で、生徒が主体的な判断・決定・実行する力を高めるよう、温かな思いやりのある行動を期待しています。

○ RESPECTへの願い

生徒は、卒業後、実社会に出た場合、RESPECT「他人への思いやり」があれば、大抵のことは円滑に進めることができます。この大会を通して、自校や他校の生徒同士、学校の先生、大会関係者、特にゲームでは審判へのRESPECT行動を具体的に示す大会を目指します。

このため会場では、自校の生徒同士、引率の先生、対戦相手校の生徒と先生、審判、大会関係者などにはRESPECTを表す「こんにちは」や「お願いします」「ありがとうございます」などの具体的な礼儀や言葉遣いを行うことを期待しています。

1 旅費（交通費）の助成

(1) 助成の対象

①前泊及び後泊を必要とする遠隔の学校を対象に必要な交通費を助成する。

(2) 交通手段

①基本的に都市間バスを利用するものとする。

②やむを得ぬ事情があり、他の交通手段を使用しなければならない場合は、法人事務局と協議すること。

③借上バスの利用は、その総額が都市間バス利用の総額を上回らないことを条件とする。その際、バス運転手にかかる別途諸費用は学校の負担とする（複数校で同乗する場合も同様）。

(3) 費用の算定

①交通費は、学校所在地（市町村）のバスターミナルから札幌市（バスターミナル）までとする。

②バス料金は、障がい者割引（往復）を利用すること。代金には引率者の費用を含む。

③引率者の助成は、カテゴリーⅠは3名まで、カテゴリーⅡは2名までとする。

④総額を算定し、法人事務局に申込書No.1で校長名で申請すること。

⑤交通費は大会当日に支払うものとする。

(4) 助成の対象外

①札幌市内校、日帰り参加校

○かかる交通費は学校負担とする。

②宿泊を要する学校

○「学校 ⇄ 学校所在地の市町村バスターミナル」間の交通費は学校負担とする。

○「札幌バスターミナル ⇄ 指定宿舎または大会会場」間の交通費は学校負担とする。

○バス以外の交通手段を利用した場合も同様とする。

2 宿泊費等の助成

(1) 助成の対象

①前泊及び後泊を必要とする遠隔の学校を対象に宿舎を用意し、その費用を助成する。

(2) 宿泊場所

①宿舎は法人事務局で用意する。

※利用宿舎が決まり次第、宿泊希望校に連絡する。

※利用宿舎は、「夢きたれ（北海道サッカートレーニングハウス）」等を予定。

(3) 費用の算定

①宿泊費、食費の全てを法人が助成する。

②前泊で宿舎到着が所定の夕食時間を過ぎる場合、一人につき1,000円を夕食費として助成する。

③宿泊予定者の人数、性別、要望事項等は、大会申込の際に法人事務局に提出すること。

(4) 助成の対象外

①暑さ対策の氷などは法人事務局で一定程度準備する。

②その他必要な飲食物は各校で準備すること。

(5) 昼食

①大会当日の昼食（弁当）は法人事務局で準備する。

(6) その他

①宿舎での食事、昼食について、アレルギー食を可能な限り用意する。ただし、対応できかねる場合は各校で適切に準備するものとする（費用については別途協議する）。

申込書 No.1

Fax 011-887-6562

本校は、標記フットサル大会に参加します。

令和8年 月 日

学校名	
校長名	
担当者 (職・氏名) (連絡 電話番号) (メールアドレス)	
交通費の助成 ※別紙「旅費、宿泊等にかかる 支援規定」に拠る。 ※往復の金額を記入。 参加人数 要望事項等	学校所在地 (_____ 市・町・村) ⇨ 札幌市 交通費 (_____) 円を請求します。
	参加人数 引率者 () 名、生徒 () 名
	要望事項／協議事項
宿泊費の助成 ※前泊、後泊を要する場合	前泊の助成 (要 ・ 不要) 後泊の助成 (要 ・ 不要)

【備考】

- 1 参加者名簿
別紙「申込書No.2 参加者名簿」に記入してください。
- 2 申し込み〆切日
令和8年5月25日(月) 厳守
- 3 申込方法
申込書No.1・No.2は、手書きではなく、ワード・エクセルにて記入をお願いします。
 (1) 申込書No.1
申込書に必要事項を記入し、メール及び Fax にて下記まで送信してください。
 (2) 申込書No.2 (参加者名簿)
必要事項を記入し、必ず指定パスワードにて保存し、メールにて下記まで送信してください (Fax 不要) (パスワードは申込書No.2に記載してあります)。
- 4 申込書送付先

公益財団法人明日佳	事務局長	鈴木重男
携帯電話	090-7519-9503	
Email	suzukishigeo2265@outlook.jp	
Fax	011-887-6562	

事業2 2026第10回小野寺眞悟杯 北海道特別支援学校フットサル大会申込書No.2

										公益財団法人 明日佳			
事業2 2026第10回小野寺眞悟杯 北海道特別支援学校フットサル大会													
申込書No.2 「参加者名簿」										指定パスワード：asuka2026			
全文を検討してください。										学校名		電話番号	
										※薄い色の欄はリストから入力できます。			
参加者					宿泊希望の学校					全ての学校			
		氏名			性別	年齢	前泊	夕食別途	後泊	昼食	アレルギー	その内容	
引率者	(1)												
	(2)												
	(3)												
生徒	背番号	学年	氏名	匿名/写真									
	1												
	2												
	3												
	4												
	5												
	6												
	7												
	8												
<p>申込書No.2は、必ず指定パスワードにて保存し、所定のメールアドレスに送付すること。Faxは不要です。</p> <p>※1 学年、氏名、年齢以外は、希望する欄に「○」印を記入（リストから入力）してください。</p> <p>※2 「匿名/写真」は、通知文を確認し、希望する内容をリストから選択してください。</p> <p>※3 「夕食別途」は、宿泊希望の学校が遅れて宿舎に到着する場合のみに助成される夕食費です。</p> <p>※4 「アレルギー食」の対応を希望する場合は、該当欄に○印を記入（リストから入力）し、その具体を「その内容」に記述してください。</p> <p>※5 宿泊を希望する学校については、利用宿舎が決定次第、各校に連絡します。 また、宿泊に関する詳細については、別途、学校担当者へ連絡します。</p>													

事業3 パラスポーツに係る実践研究校の指定

事業3 パラスポーツに係る実践研究校の指定

障がいの特性に応じたスポーツ活動の推進に寄与する実践研究（指導内容・方法、教材等の工夫・開発など）について、学校・学部、個人、団体等から幅広く募集し、実践研究の指定校に研究費を助成します（研究テーマの例を削除）。今後の特別支援教育をけん引する本道の若い教員等の積極的な応募を期待しています。

下記「事業要項」をご覧の上、本事業のテーマ（目的）をよくご理解の上、別紙申込書によりお申し込みください。

【事業要項】

1 目的

障がい児・者のスポーツ活動（パラスポーツ）にかかる実践研究を推進し、児童生徒のパラスポーツのより一層の工夫・充実を図る。

2 募集対象

道内特別支援学校（個人、共同研究）、その他活動団体、等

3 募集数

5件程度（予定）

4 研究指定の方法

- (1) 申込書の「研究構想」を当法人で検討の上、実践研究校（個人、団体）を指定する。
- (2) 指定の可否についてはメールにて連絡する。

5 研究助成

- (1) 研究助成費 10万円
- (2) 指定が決定した学校（学部、個人、団体）には、学校（または団体）が指定する口座に研究助成費を振り込む。
- (3) 研究助成費は、校長（または団体責任者）の管理の下で弾力的に活用すること。
- (4) 申込書、中間報告書、最終報告書の作成、提出については、必ず学校管理職の決裁を受けること。

6 研究の流れ

- (1) 申込書の提出と研究指定
 - ①研究構想を記載した申込書（別紙）を令和8年4月24日（金）必着で提出すること。
 - ②5月中旬までに指定の可否を各校に連絡する。
 - ③指定が決定した後、速やかに研究助成費を拠出する。
 - ④研究の内容を深めるため、主催者（当法人）の意見を伝える場合がある。その際は柔軟に対応すること。
- (2) 中間報告書の提出
 - ①研究の進捗状況を記載した中間報告書（2頁程度）を提出すること（様式は任意）。
 - ②締め切りは令和8年10月30日（金）とする。
- (3) 最終報告書の提出
 - ①所定の書式による最終報告書（研究のまとめ、10頁以内）を提出すること。

②締め切りは令和9年1月15日（金）とする。

③最終報告書の書式（ワード）は研究指定の可否を連絡の際に一緒に送付する。

(4) パラスポーツ研究成果報告書

①各原稿を整理、編纂して「パラスポーツ研究成果報告書」として製本し、以下の各機関に配布する。

文部科学省、北海道教育委員会、国立特別支援教育総合研究所、道立教育研究所、道立特別支援教育センター、道内特別支援学校、他

7 研究成果報告書（最終報告書）

(1) 報告書の執筆

①所定の書式により、10頁以内を基本として実践研究の内容を整理し、考察・今後の課題等を加え、研究成果報告書として執筆する。

②報告書の内容（例）

ア 研究者名（共同研究 可）

イ 研究テーマ

ウ 研究テーマの設定理由

エ 学校等の実態

オ 実践研究の内容・方法

カ 実践研究の成果と課題、等

③最終報告書は当法人で推敲（誤字、脱字の修正、文言の修正、等）する。

(2) 配慮事項

①執筆に当たっては、写真や図等を多く取り入れ、読者が理解しやすいように工夫すること。

②図表は文字が判別できるよう適宜拡大するなど、読者側に配慮したレイアウトを工夫すること。

③写真の掲載については、児童生徒の個人情報に配慮した掲載とすること。

④所定の書式（余白、文字数、行数、フォント、大きさ等）に則って執筆すること。

8 備考

(1) ホームページ

当法人では、これまで9年間にわたり実践研究をまとめた「パラスポーツ研究成果報告書」を発刊してきました。ホームページから閲覧してください。

アドレス <https://onoderashingo-zaidan.or.jp/>

事業3 パラスポーツに係る実践研究校の指定 申込書

申 込 書

Fax 011-887-6562

本校は、下記によりパラスポーツに係る実践研究校の指定を希望します。

令和8年 月 日

学 校	学校名	
	校長名	
	事務長名	
研究代表者	職・氏名	
	共同研究者名	
	電話番号(学校)	
	メールアドレス	
研究の概要	研究主題	
	主題設定の理由	
	研究の概要 (内容) (方法) 等	
	想定される成果	
研究助成費	金融機関名	(金融機関番号) (店番号)
	口座名	
	フリガナ	
	口座番号	

職務執行状況報告

公益財団法人明日佳

理事長 小野寺 眞 悟

業務執行理事 吉 田 洋 一

○9/3 第 10 回小野寺眞悟杯北海道特別支援学校フットサル大会の会場として、エアコンの入った北海道立体育センター第 2 フロアを、他の会場がない場合の予備として理事長名で仮予約した。

○9/15 韓国障がい者サッカー連盟から、第 10 回小野寺眞悟杯北海道特別支援学校フットサル大会の開催日程に係る問い合わせが理事長にあった。

○10/15 小野寺眞悟理事長から 500 万円の寄付があった。

○10/25 小野寺理事長は、第 62 回札幌 OSEAL フォーラム特別支援学校フットサル特別競技を観戦し、北海道札幌あいの里高等支援学校を激励した。

○2026/1/3 韓国知的障がい者サッカー連盟から第 10 回小野寺眞悟杯北海道特別支援学校フットサル大会の具体的参加条件の問合せが理事長にあった。

○1/5 韓国知的障害サッカー連盟に第 10 回小野寺眞悟杯北海道特別支援学校フットサル大会の具体的参加条件として、「参加は可能」であるが、「参加に係る費用負担は貴連盟で負担すること」と回答した。

○2/2 フットサルクラブ・エスポラーダ北海道との平成 8 年度札幌市内特別支援学級への「特別支援学級ちゃれんじ・ふっと・ぼーる」の実施に実施要項を決定して、事業を依頼した。

○2/12 第 10 回小野寺眞悟杯北海道特別支援学校フットサル大会の後援名義使用に係る手続きを、「北海道教育委員会」及び「北海道特別支援学校長会」「江別市」「江別市教育委員会」「札幌北の杜ライオンズクラブ」「公益財団法人北海道サッカー協会」に行った。